

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	301
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として、回復期病院や訪問リハ、デイサービスでの実務経験あり。 また、島根大学大学院で、地域包括ケアシステムについて学び、医科学修士を修了。			
《授業科目における学習内容》						
疾病の原因、発生機序の解明や疾病の診断を確定などの疾病の本態を理解し、理学療法と繋げる知識を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
課題の提出、筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
病理学 医学書院 OWL-P						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中口頭試問等行う。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	病理学の概念について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	テキストの箇所を読んで おく。
		各コマに おける 授業予定	イントロダクション:病理学で学ぶこと			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	細胞・組織の障害と修復について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	テキストの箇所を読んで おく。
		各コマに おける 授業予定	細胞・組織の障害と修復			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	循環障害について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	テキストの箇所を読んで おく。
		各コマに おける 授業予定	循環障害			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	炎症と免疫・感染について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	テキストの箇所を読んで おく。
		各コマに おける 授業予定	炎症・免疫・感染			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	代謝障害について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	テキストの箇所を読んで おく。
		各コマに おける 授業予定	代謝障害			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化と死・先天異常と遺伝子異常について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	老化と死・先天異常と遺伝子異常		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腫瘍Ⅰ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腫瘍Ⅱ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			腫瘍についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			腫瘍についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			